



男衆による勇壮な神輿



新しく作られた子ども神輿

威勢よく！勇壮に！祇園祭

7月は夏祭りの季節。昨年は震災の影響により中止された神崎本宿地区の祇園祭が7月14日～16日の3日間行われました。今年は宝くじ助成により以前の子ども神輿が修復され、きらびやかに輝きを増した神輿が女神輿として登場。祭り衣装を纏った女性たちが艶やかに元気よく町内を練り歩きました。また、昨年新たに作製された子ども神輿も初お披露目となりました。2～3日目には山車の曳き廻しがあり、佐原ばやしや踊りとともに大勢の見物客を魅了しました。



修復され輝きを増した女神輿

宝くじ助成で御神輿を 84年ぶりに大改修



本宿区長会では、平成24年度(財)自治総合センターの宝くじ助成事業を活用し、本宿八坂神社の御神輿を改修しました。

この御神輿は、昭和3年に作製され、神輿の製作者から非常に高い評価を得ていますが、長い年月を経たことで傷みが大きくなっていました。今回の改修は貴重なお神輿を後世に継承するため、全面的な解体修理を実施しました。

7月14日の神輿の渡御では、祭姿の女性が改修された御神輿を担ぎ、女神輿として町を練り歩きました。



左上：神崎小寄贈図書、右上：米沢小寄贈図書
左下：神崎中寄贈図書、右下：ふれあいプラザ寄贈図書

小中学校・ふれあいプラザの図書室に 役場職員労働組合が図書を寄贈

昨年11月に役場職員労働組合から町に、図書寄贈の目録が贈られ、このたび各施設へ図書が入庫となりました。神崎小39冊、米沢小54冊、神崎中46冊、ふれあいプラザ138冊で約100万円分の図書が納品され、貸し出しが始まりました。

これからが町の将来を担う児童・生徒のため、また多くの町民の皆さんが利用するふれあいプラザの図書として、幅広く活用されることを期待します。